

1. はじめに

IBM Infoprint45 をご利用いただきましてありがとうございます。

この更新パッケージを利用することで、プログラムのバージョン 2.xxxxxx の最新版プリンター制御プログラムを導入していただくことができます。導入後はこのパッケージでは元のレベルには戻せません。また、手順どおりに導入されない場合、修理が必要な故障となる場合もありますので、このガイドを良くお読みになり注意して導入していただけますようお願いいたします。

2. 同梱品について

本パッケージを実行し、展開先を指定してファイルを取り出してください。展開しますと以下のファイルが同梱されております。お確かめください。

- setup2to3.mcu (バージョン 2.xxxxxx 間の更新の場合にのみ使用します。)
- setup3to2.mcu (バージョン 3.xxxxxx からの更新の場合にのみ使用します。)
- CTL2xxxxxx.mcu (xxxxxx は 6 桁の数字です。細かなバージョンを示します。)
- IPDS2yy.mcu (yy は 2 桁の数字です。細かなバージョンを示します。)

また、別途最新のユーザズ・ガイドもダウンロード可能ですので、ご参照ください。

3. 機能更新に関わる注意事項

バージョン 2.xxxxxx はフォーム定義を使用できない従前のレベルのプリンター制御プログラムです。プリンター制御プログラムのバージョンを 3.xxxxxx から 2.xxxxxx へ更新することにより、以前までご使用になっていた設定値の再設定が必要な場合があります。以降の手順でもご説明しておりますが、現時点のプリンターの設定を記録の上、必要に応じて更新後に再設定していただけますようお願いいたします。

また、バージョン 2.xxxxxx 間の更新においても同様にプリンターの設定を記録の上、更新後に設定値を確認していただけますようお願いいたします。

4. 更新の手順について

大きな流れは以下ようになります。

- (1) 当該ユーザーガイドを読み、機能の更新が業務に支障をきたさないか確認する。
- (2) プリンターの管理者に依頼し、プリンターへの出力を止める。
- (3) プリンター構成ページを印刷し、現在のプリンター設定を確認する。
- (4) 新しいプリンター制御プログラム (MCU ファイル) をプリンターに送り込み、プリンターの制御プログラムを更新する。
- (5) プリンター構成ページを印刷して更新前のプリンター設定と比較し、必要があれば再設定する。

5. プリンター制御プログラム (MCUファイル) の送り込み

5.1. 必要な環境、データ

- LPRが使用できるPC。
用意したPC (Windows NT, 2000 またはLPRプログラムを組み込んだWindows98 など) からプリンターへLPRでデータを送れることを確認しておいてください。
Windows98の場合は標準でLPRが提供されていないのでibmlprなどのLPRプログラムを導入しておく必要があります。ibmlprは以下のURLからダウンロードできます。
<http://www-6.ibm.com/jp/printer/download/utility.html>
- 3つのMCUファイル(1: setupAtoB.mcu, 2: ctl2xxxxxx.mcu, 3: ipds2yy.mcu)。
これらのMCUファイルの送り込みはこの順番で実施する必要があります。
setupA.toB.mcu ファイルは、
バージョン 2.xxxxxxx 間で更新する場合 : setup2to3.mcu
バージョン 3.xxxxxxx から更新する場合 : setup3to2.mcu
をそれぞれ使用します。間違えないようにご注意ください。

5.2. 実施手順

- (1) あらかじめ10枚程度の用紙を印刷できるようにセットしてください。
- (2) プリンター構成ページを印刷します。
参考：“テストメニュー” “プリンター コウセイ” 実行KEY
- (3) MS-DOS プロンプト (コマンド プロンプト) を開いてください。
- (4) setupAtoB.mcu の送信
 - (4-1)LPRにより setupAtoB.mcu をプリンターに送信してください。
 - Windows NT / 2000 等の場合
LPR -S <ip.adrs> -P PASS -o l <setupAtoB.mcu>
注 : <ip.adrs>はプリンターのIPアドレス
注 : “-o l” は 小文字のオーと小文字のエル
注 : <setupAtoB.mcu>はデータファイル名。必要に応じてファイルのあるパス名をつける。
 - Windows98 等で IBMLPR を使用する場合
IBMLPR -S <ip.adrs> -P PASS <setupAtoB.mcu>
注 : <ip.adrs>はプリンターのIPアドレス
注 : <setupAtoB.mcu>はデータファイル名。必要に応じてファイルのあるパス名をつける。
 - (4-2)送信が完了するとプリンターが初期化を始めますので、完了するまで数分お待ちください。
 - (4-3)初期化を完了後、データの更新が成功したか結果が印刷されますので確認してください。
(Appendix-1を参照。)
- (5) ctl2xxxxxx.mcu の送信
 - (5-1)LPRにより ctl2xxxxxx.mcu をプリンターに送信してください。(方法については(4-1)参照。)
 - (5-2)送信が完了するとプリンターが初期化を始めますので、完了するまで数分お待ちください。
 - (5-3)初期化を完了後、データの更新が成功したか結果が印刷されますので確認してください。
(Appendix-2を参照。)
- (6) ipds2yy.mcu の送信
 - (6-1)LPRにより ipds2yy.mcu をプリンターに送信してください。(方法については(4-1)参照。)
 - (6-2)送信が完了するとプリンターが初期化を始めますので、完了するまで数分お待ちください。
 - (6-3)初期化を完了後、データの更新が成功したか結果が印刷されますので確認してください。

(Appendix-3 を参照。)

プリンター制御プログラム (M C Uファイル) は特別なものなので、バッチ・プログラム等を用いて連続的にプリンターに送信しないでください。また、送信する M C Uファイルの順序も上記の手順にしたがってください。

M C Uファイルの送信中はプリンターの操作パネルに ” CODE UPDATE IN PROGRESS / DO NOT POWER OFF ” と表示されます。初期化が完了するまで電源を途中で切らないよう注意してください。

(7) プリンター構成ページを印刷してください。

(8) プリンター構成ページにおいて、MACHINE INFO 中の以下の3つの項目の値が 2.xxxxxx,2yy (xxxxxx は 6 桁の数字, yy は 2 桁の数字で、細かなバージョンを示します) になっていることを確認してください。

```
MACHINE INFO
      :
ROM = 2.xxxxxx
CTL = 2.xxxxxx
      :
IPDS = 2.yy
      :
```

(9) プリンター制御プログラムの更新前に(2)で印刷しておいたプリンター構成ページと比較して、使用していた設定値が変更されている場合は再設定をしてください。

以上